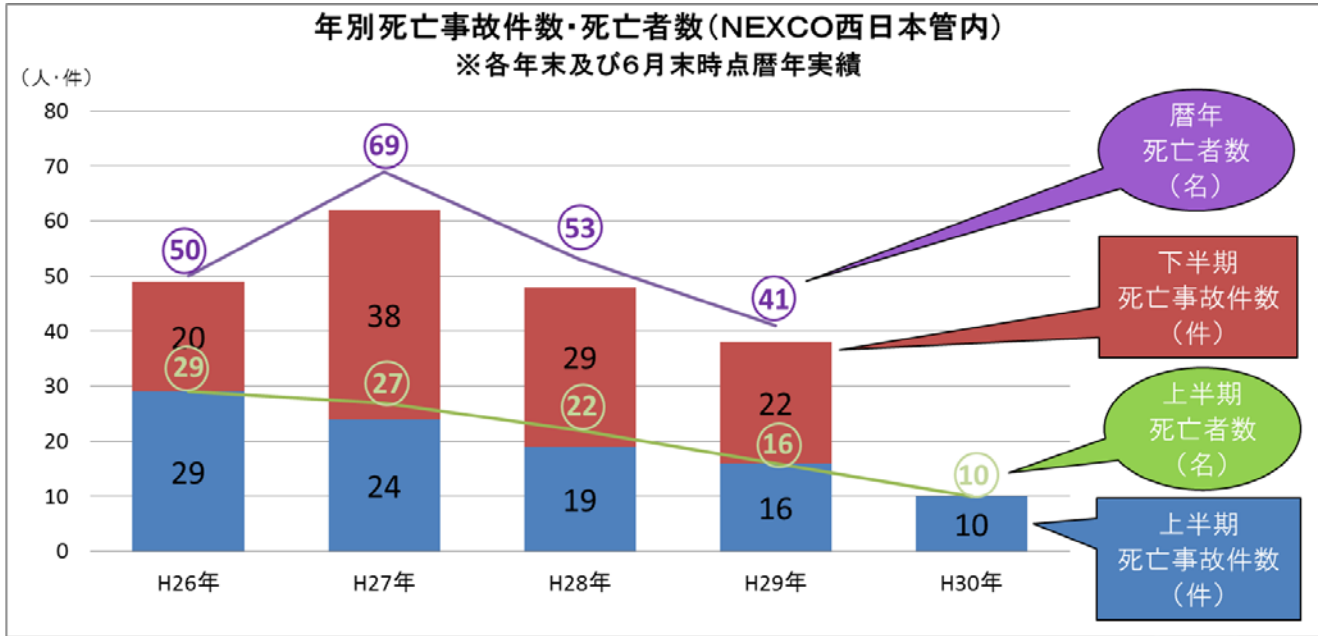


〔資料中の値は、特に記載のあるものを除き、全てNEXCO西日本調べ（平成30年1月から6月までの速報値）〕

### 1. 交通死亡事故発生状況について

#### 《① 死亡事故件数・死亡者数(H26～30年上半期)》

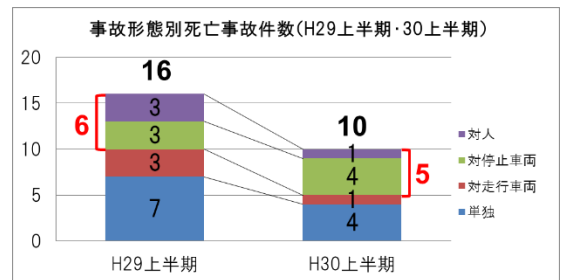
平成30年上半期の交通死亡事故発生状況は、過去5年間の上半期と比較して、交通死亡事故件数・死亡者数ともに最も低い水準となっております。



#### 《② 死亡事故の特徴と傾向》

死亡事故の発生状況を前年と比較すると、事故形態別では、全体件数は減少したものの、「まさか! (※)の事故」が依然として発生(H29:6件→H30:5件)しており、看過できない状況にあります。

※「まさか!の事故」=直前の事故や故障等により高速道路上に立っている人や、停止している車両等に衝突する事故(対人事故+対停止車両事故)



#### 《③ 平成30年上半期に発生した死亡事故の概要(例)》

【対停止車両:2月5日(京滋バイパス)】	【対人:5月22日(第二京阪道路)】
<p>②追突の反動で普通乗用が路肩へ移動したのちに炎上</p> <p>路肩</p> <p>走行</p> <p>追越</p>	<p>路肩</p> <p>第一走行</p> <p>第二走行</p> <p>追越</p> <p>中央分離帯</p>
<p>①中型貨物が、渋滞により追越車線に停止していた普通乗用に追突</p>	<p>何らかの理由により中央分離帯側から路肩側に向かって横断</p>
<p>中型貨物が追越車線を進行中、渋滞により追越車線に停止していた普通乗用に追突、反動で普通乗用は路肩まで移動したのちに炎上したもの。普通乗用運転手の女性1名が死亡。</p>	<p>普通乗用が第二走行車線を進行中、何らかの理由で中央分離帯側から路肩側へ高速道路本線を横断中の歩行者と衝突したもの。歩行者の男性1名が死亡。(歩行者は前方路肩停止の二輪運転手と判明)</p>